



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トランスジェニック
 コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 山本 健一

TEL 092-288-8470

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	985	31.1	3	—	△19	—	△22	—
28年3月期第2四半期	751	4.8	△133	—	△145	—	△104	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △51百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △104百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△1.59	—
28年3月期第2四半期	△7.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	3,746	3,085	82.0	214.06
28年3月期	3,905	3,069	78.2	214.27

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,072百万円 28年3月期 3,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,550	11.3	150	197.5	110	480.2	65	345.6	4.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,354,941 株	28年3月期	14,246,941 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,421 株	28年3月期	1,421 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	14,325,050 株	28年3月期2Q	13,915,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、当第2四半期連結累計期間に、転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使により、新たに普通株式108,000株を発行しており、業績予想の「1株当たり当期純利益」は当該株式を含めて算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や小幅ながらも賃金の上昇がみられたものの個人消費は伸び悩み、期初からの大幅な為替の円高進行もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するバイオ関連業界におきましては、人々の健康と豊かな生活の実現に向け、新製品の開発が相次ぐとともに、産学連携による共同研究も活発化いたしました。

このような環境の中で、当社グループは、ジェノミクス事業においては、遺伝子改変マウス作製受託サービスの作製期間の短縮、さらにコスト低減が図れるゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)を活用した受注に注力するとともに、コスト面では人件費をはじめとする固定費の効率化に取り組みました。また、公的研究機関と独占ライセンス契約を締結し事業展開している酸化ストレス可視化マウスに関する特許が、本年7月に日本にて成立いたしました。

CRO※1事業においては、既存の顧客との取引を拡大・深化させるとともに、新規顧客の開拓に注力し受注強化を図りました。また、非臨床試験の更なる受注拡大に向け、顧客(主に製薬企業)の多様なニーズに応えるため、新しい病態モデルの研究開発に取り組みました。

先端医療事業においては、本年4月26日に(株)研ジェネシスとの間でリキッドバイオプシー※2遺伝子解析に関する協業の協定を締結し、同社が開発した「LBx® Probe」を使用し、リキッドバイオプシーによる遺伝子変異の受託解析サービスを開始いたしました。これにより、従来の受託解析サービスに加えてcfDNA※3解析を治験、臨床研究等で実施することが可能となり、製薬企業等に対してコンパニオン診断薬を見据えた多様な提案を行うことができるようになりました。

病理診断事業においては、一層の品質向上及び事業効率化に取り組むとともに、豊富な病理診断技術を活かしたサービスの拡充に取り組んでまいりました。特に当第2四半期連結累計期間は、子宮頸がんの早期発見に向け、自己採取を含むHPV※4併用検査サービスの受注拡大に注力してまいりました。また、本年4月1日からは、臨床サイドからの、院内電子カルテに対応する報告や迅速な診断を望む声に応えるため、病理診断WEB報告システムのサービスを開始いたしました。

新規事業への取組みとしては、本年4月20日、(株)CURED(横浜市、抗体医薬品の研究開発)が有する抗HIV抗体を抗体医薬品として実用化を推進するため、資本業務提携先の(株)免疫生物研究所と共同で、同社が実施する第三者割当増資(5月11日払込期日)の引受を決議・実施いたしました。

一方、本年7月22日、資産の有効活用の観点から、当社がGANP®マウス技術の特許独占実施許諾権を受けている持分法適用関連会社の(株)イムノキック(神戸市、知的財産権管理)の全株式を本年9月30日に譲渡することを決議し実行いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は985,669千円(前年同期比31.1%増)の大幅増収、営業利益は3,465千円(前年同期営業損失133,285千円)となり、第2四半期連結累計期間においては上場来初の営業損益の黒字転換を果たすことが出来ました。一方、持分法損失の計上等により経常損失は19,449千円(前年同期145,310千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は22,730千円(前年同期104,990千円)となりましたが、前年同期と比較し、大幅な損益改善となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※1 CRO	: Contract Research Organization	医薬品開発業務受託機関
※2 リキッドバイオプシー	: (liquid biopsy)血液などの体液サンプルを使ってがん等の診断や治療効果予測を行う技術	
※3 cfDNA	: cell-freeDNA (細胞外遊離DNA)	
※4 HPV	: Human papillomavirus	ヒトパピローマウイルス

① ジェノミクス事業

当事業では、遺伝子破壊マウスの作製受託、モデルマウスの販売及び抗体作製受託、新規バイオマーカーの開発などを行っております。当第2四半期連結累計期間の業績は、ゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)を活用したマウス作製受託の好調により、売上高は182,125千円(前年同期比23.0%増)となり、さらに、人件費を始めとする固定費の効率化もあり、営業利益は52,627千円(前年同期887千円)となり、大幅増収及び大幅損益改善の結果となりました。

② CRO事業

期首時点の豊富な受注残高に加え積極的な営業・受注活動により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は485,576千円(前年同期比81.1%増)となり、また、固定費の比重の高い非臨床試験における損益分岐点を上回る増収の結果、営業利益は82,156千円(前年同期は営業損失25,764千円)と大幅増収及び黒字転換の結果となりました。なお、第3四半期以降の売上となる受注残高につきましても、当第2四半期末時点で448,059千円(前年同期448,385千円)と順調に推移しております。引き続き、受注強化に努め、通期黒字幅の拡大を目指してまいります。

③ 先端医療事業

当事業では、遺伝子解析受託サービス、個別化医療に向けた創薬支援サービスを行っております。当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高については、123,482千円(前年同期比10.3%減)となり、また、今後の業容拡大に向けた増床に伴う設備投資及び家賃増等により、営業損益につきましては営業損失43,723千円(前年同期25,145千円)となりました。今後は、成長分野と位置付ける個別化医療に向けた創薬支援サービスの受注に注力し、業績回復を図ります。

④ 病理診断事業

当事業は(株)ジェネティックラボの中核事業であり、病理専門医による豊富な診断実績及び最新のバイオマーカー解析技術による高品質な病理診断サービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間の業績は、受託検体数の伸び悩みにより、売上高は202,736千円(前年同期比0.5%増)と微増にとどまり、また、増床に伴う設備投資及び家賃増等により営業利益は6,371千円(前年同期19,892千円)と減益になりました。今後は、受託検体数の増加及び新規サービスの自己採取HPV検査の普及に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,487,265千円となり、前連結会計年度末に比べ231,956千円減少いたしました。これは主に仕掛品が64,664千円増加した一方、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金がそれぞれ、97,203千円、198,619千円減少したことによるものであります。固定資産は2,259,635千円となり、前連結会計年度末に比べ73,411千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の「建物及び構築物」及び「その他」並びに投資その他資産の「投資有価証券」がそれぞれ、38,785千円、38,306千円、18,461千円増加した一方、のれんが18,577千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は412,996千円となり、前連結会計年度末に比べ81,620千円減少いたしました。これは主に買掛金及び未払金並びにその他流動負債がそれぞれ24,481千円、34,449千円、15,440千円減少したことによるものであります。固定負債は248,814千円となり前連結会計年度末に比べ92,232千円減少いたしました。これは転換社債型新株予約権付社債及び長期未払金並びにその他固定負債がそれぞれ、20,000千円、57,805千円、14,427千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,085,090千円となり、前連結会計年度末に比べ15,308千円増加いたしました。これは転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ、35,554千円増加する一方、親会社株主に帰属する四半期純損失22,730千円の計上及びその他有価証券評価差額金の減少28,376千円並びに新株予約権の行使による減少4,693千円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは102,522千円の収入(前年同期は114,796千円の支出)となりました。これは主に、営業損益黒字化により税金等調整前四半期純損失が22,041千円(前年同期は145,310千円の損失)と前年同期比大幅改善に加え、減価償却費の計上額33,990千円、のれん償却費の計上額18,577千円、持分法による投資損失の計上額21,132千円、前期末売掛金の回収による売上債権の減少額198,619千円(前年同期は116,598千円減少)、たな卸資産の増加額59,055千円、仕入債務の減少額24,481千円、未払金の減少額35,568千円、その他負債の減少額18,684千円、法人税等の支払額10,317千円等を調整したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは179,613千円の支出(前年同期は120,795千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出108,396千円、投資有価証券の取得による支出79,800千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは20,100千円の支出(前年同期は73,508千円の支出)となりました。これは長期未払金の返済による支出57,805千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入46,415千円、その他支出8,710千円によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ97,203千円減少し、956,549千円(前年同期末1,037,085千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は季節的変動が著しく、下半期に売上が集中する傾向にありますが、当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移し、受注も順調に獲得しております。

以上により、現時点におきましては平成28年5月12日に公表いたしました平成29年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,053,753	956,549
受取手形及び売掛金	488,378	289,758
商品及び製品	1,625	994
仕掛品	67,288	131,953
原材料及び貯蔵品	31,744	26,766
その他	76,899	82,252
貸倒引当金	△468	△1,010
流動資産合計	1,719,221	1,487,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	993,587	1,051,204
減価償却累計額	△309,550	△328,382
建物及び構築物(純額)	684,036	722,822
土地	621,290	621,290
その他	523,262	567,125
減価償却累計額	△400,026	△405,582
その他(純額)	123,236	161,542
有形固定資産合計	1,428,562	1,505,655
無形固定資産		
のれん	156,211	137,633
その他	14,884	11,031
無形固定資産合計	171,096	148,665
投資その他の資産		
投資有価証券	551,964	570,426
その他	37,100	37,388
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	586,565	605,315
固定資産合計	2,186,223	2,259,635
資産合計	3,905,445	3,746,900

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,607	126
未払金	212,932	178,483
未払法人税等	16,672	9,057
賞与引当金	8,322	8,655
受注損失引当金	—	33
その他	232,081	216,640
流動負債合計	494,616	412,996
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,000	—
長期未払金	289,025	231,220
その他	32,021	17,594
固定負債合計	341,046	248,814
負債合計	835,663	661,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,682,463	2,718,017
資本剰余金	430,409	465,963
利益剰余金	△68,204	△90,934
自己株式	△1,725	△1,725
株主資本合計	3,042,942	3,091,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,508	△18,868
その他の包括利益累計額合計	9,508	△18,868
新株予約権	17,330	12,637
純資産合計	3,069,782	3,085,090
負債純資産合計	3,905,445	3,746,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	751,584	985,669
売上原価	563,838	674,472
売上総利益	187,746	311,196
販売費及び一般管理費	321,032	307,731
営業利益又は営業損失(△)	△133,285	3,465
営業外収益		
受取利息	383	403
補助金収入	—	4,789
その他	535	841
営業外収益合計	918	6,034
営業外費用		
支払利息	1,087	508
持分法による投資損失	8,391	21,132
その他	3,464	7,308
営業外費用合計	12,943	28,949
経常損失(△)	△145,310	△19,449
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,892
持分変動利益	—	1,442
特別利益合計	—	3,335
特別損失		
投資有価証券清算損	—	3,127
固定資産除却損	—	2,800
特別損失合計	—	5,927
税金等調整前四半期純損失(△)	△145,310	△22,041
法人税、住民税及び事業税	2,860	2,202
法人税等調整額	△43,180	△1,513
法人税等合計	△40,320	688
四半期純損失(△)	△104,990	△22,730
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△104,990	△22,730

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△104,990	△22,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△28,376
その他の包括利益合計	44	△28,376
四半期包括利益	△104,945	△51,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104,945	△51,106
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△145,310	△22,041
減価償却費	31,062	33,990
のれん償却額	18,577	18,577
固定資産除却損	—	2,800
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△1,892
投資有価証券清算損益(△は益)	—	3,127
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△252	541
受取利息及び受取配当金	△391	△414
支払利息	1,087	508
持分法による投資損益(△は益)	8,391	21,132
持分変動損益(△は益)	—	△1,442
売上債権の増減額(△は増加)	116,598	198,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	△100,222	△59,055
仕入債務の増減額(△は減少)	22,426	△24,481
未払金の増減額(△は減少)	△50,853	△35,568
その他の資産の増減額(△は増加)	△17,213	△2,128
その他の負債の増減額(△は減少)	19,982	△18,684
小計	△96,116	113,588
利息及び配当金の受取額	425	364
利息の支払額	△1,667	△1,113
法人税等の支払額	△17,437	△10,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,796	102,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,243	△108,396
無形固定資産の取得による支出	—	△492
投資有価証券の取得による支出	—	△79,800
投資有価証券の清算による収入	—	3,965
関係会社株式の取得による支出	△53,746	—
関係会社株式の売却による収入	—	3,000
貸付金の回収による収入	607	620
その他	587	1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,795	△179,613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期末払金の返済による支出	△57,805	△57,805
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,358	46,415
自己新株予約権の取得による支出	△4,881	—
その他	△13,180	△8,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,508	△20,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△309,100	△97,203
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,185	1,053,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037,085	956,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	先端医療事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	143,846	265,521	135,556	201,660	746,584	5,000	751,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,164	2,583	2,048	—	8,796	△8,796	—
計	148,010	268,104	137,605	201,660	755,381	△3,796	751,584
セグメント利益又は損失 (△)	887	△25,764	△25,145	19,892	△30,130	△103,154	△133,285

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,656千円、報告セグメント間取引に係る未実現利益消去△3,498千円及び持分法適用関連会社からのコンサルティング収入5,000千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	先端医療事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	182,125	481,435	117,721	202,736	984,019	1,650	985,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,141	5,760	—	9,901	△9,901	—
計	182,125	485,576	123,482	202,736	993,920	△8,251	985,669
セグメント利益又は損失 (△)	52,627	82,156	△43,723	6,371	97,431	△93,965	3,465

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△95,615千円、持分法適用関連会社からのコンサルティング収入等1,650千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。